

夢とアート共鳴

4年ぶり出部文化祭



第43回出部地区文化祭が2月18日、スマイルいずえ出部公民館で開催されました。
(10~13面に写真特集)

今回は、コロナ禍を経て4年ぶりの開催。場所もこれまでの出部小学校からスマイルいずえに変更となり、準備段階から手探りで進めることになりました。

場所や設備など、制約された条件下での開催となり、関係者の方々にはご負担やご不便をおかけすることになりましたが、おかげさまでなんとか実施にこぎつけることができました。

当日は多くの方にお越しいただき、また多くの方に出演・出品していただきました。出演・出品される方々にとって、日頃の成果を披露していただく機会とな

る一方、鑑賞される方々にとっては、文化・芸術に触れていただく機会になりました。

また、開催の準備に携わっていただいた関係者の方々には、お疲れさまでした。

文化祭が、出部地区をはじめ、井原市の文化の一層の発展や地域の方々の交流、親睦につながることを願っています。

(文化部長 立間知之)

メニュー

温もり伝わるライブ	2面
つなぐ会2023年度活動	4・5面
男の料理おいしい挑戦	6面
フォトコン2023入賞作	17面
無火災めざせ出初式	18面

出部地区人口	2024年	2月29日現在	7,313(184)人	男3,575(72)人	女3,738(112)人	世帯数3,185(155)戸	
	2023年	10月末比	-40(-20)人	-13(-4)人	-27(-16)人	-115(-110)戸	※カッコ内は外国人

きらめき出部コーラス

いずえカフェ連携アフタヌーンライブ「出部コーラスきらめきハーモニー」が11月24日、スマイルいずえ出部公民館で開かれました。

公民館サークル出部コーラスの17人が出演。ライブは4コーナーで構成。「見上げてごらん夜の星を」など何気ない日々の小さな幸せの歌として、「おぼろ月夜」など情緒豊かな四季だよりとして、「心の窓に



ともし灯を」などを出部コーラスの歌として、美しいハーモニーを響かせました。客席と一緒に「もみじ」を輪唱し楽しく歌い上げました。

音楽の温もりアフタヌーンライブ

スマイルいずえ出部公民館サークル「ベルフレンド」が12月22日、いずえカフェ連携アフタヌーンライブで素敵なミュージックベルのライブを繰り広



ベルフレンド
幸せの響き

げました。イベントはスマイルいずえ出部公民館といずえ地区まちおこし協議会の共催で開催され、スマイルいずえの多目的ホールでサークルメンバー12人が心を込めて演奏しました。

曲目は、まさにクリスマス気分満点。「赤鼻のトナカイ」「もろびとこぞりて」など、クリスマスソングが会場に響き渡りました。ミュージックベルの美しい音色が一体となり、聴衆は心温まるひとときを楽しみました。

ウクレレとギター絆奏でるXmas

地域の音楽愛好者が集まり、共に楽しみながら音楽の腕を磨く場として人気を博している、スマイルいずえ出部公民館サークルのウクレレ教室は、12月9日、公民館を会場に素晴らしいXmasコンサートを披露しました。

ウクレレ教室と公民館サークルのギター講座受講生が参加。倉敷市内で活動するジャズバンド「キャッツアイ」も加わり、ウクレレやギターの調べとジャズのリズムが交わりました。スマイルいずえはアット



ホームな雰囲気漂い、地域住民たちは身近な場所で楽しいひと時を過ごしました。

コンサートでは、ゲスト歌手の今村美子さんも出演し、その美しい歌声でスマイルいずえを温かな雰囲気に包み込みました。

ふるさとウォーク



下笹賀、冒険巡り

スマイルいずえ出部公民館とい
ずえ地区まちおこし協議会の出部
歴史研究会がタイアップした「出
部を写そう・出部を知ろうふるさ
とウォーク」は11月11日、下笹賀
地区を巡りました。

春の七日市地区に続き今年度2
回目の開催。この日は天候にも恵
まれ、快晴のなか参加者15人で、
笹賀八幡神社から丑寅神社まで、
下笹賀の史跡を歩いて回りました。

初大明神や地神碑、常夜灯や宝大神社、荒神社などの史跡を、吉澤泰夫先生から説明を受けながら一つ一つ確認して歩きました。特に丑寅神社については、初めて知ったという参加者も多く、いわれや本殿の装飾など興味をひかれる史跡でした。

2024年度も下出部を巡る「ふるさとウォーク」などを計画しています。多くの皆様の参加をお待ちしています。

いずえ地区まちおこし協議会の
Team♥キューピットは12月9日、
「BBQ大会」を開催しました。独
身男女15人、スタッフ9人の総勢24
人が参加、星空ペンション・コメッ
ト（井原市美星町）の屋外スペース
で、BBQを楽しみました。

自己紹介の後はフリータイム。参
加者たちは自由に席を移動して、グ
ループや個々で会話が弾みました。
緊張が解けてきたところで、
Team♥キューピット恒例の長縄飛
びでより和やかに。最後にゲーム
をしながら1人ずつ感想やコメン
トを言ってもらい、「楽しかった」
「また参加したい」という言葉が聞
けてスタッフも大喜びでした。

BBQパーティー Team♥ キューピット

熱いめぐり逢い



男女の出会いの場づくりに取り組んでいるTeam♥キューピットは2023年度、「ワインパーティー」「BBQ大会」「ピザ焼き体験」の3つのイベントを開催。参加者の地域も広がり、少しずつ知名度が高くなってきて感じています。今後、年齢層で分けたイベントも検討しながら、参加者たちに楽しんでもらえるイベントを開催します。（妹尾曜子）

ともに歩む 輝く1年

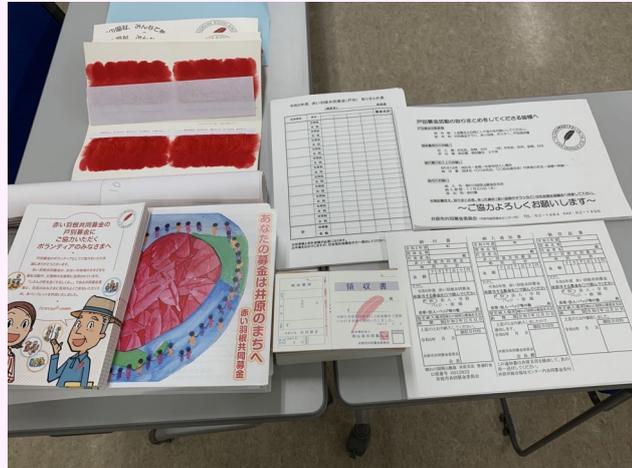


敬老会記念品



◎つなぐ会

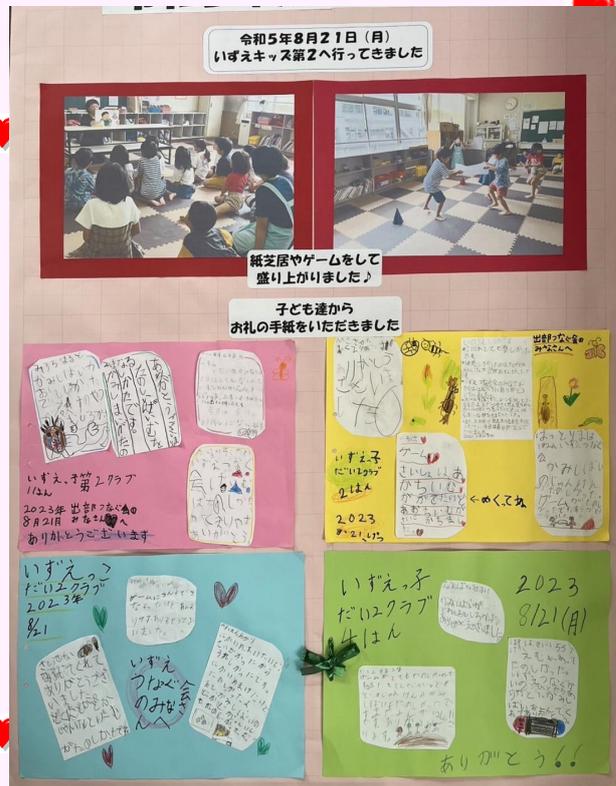
- 4月) 出部つなぐ会総会、交通安全見守り活動
- 5月) 日本赤十字社活動資金募集



- 8月) 夏フェスタ参加
- 9月) 敬老会記念品配布、交通安全見守り活動
- 10月) 赤い羽根共同募金の取りまとめ、市民体育祭参加
- 12月) 給食サービス
- 2月) 出部地区文化祭

◎愛育委員会

- 通年) 赤ちゃん訪問(4か月検診に来られた赤ちゃんに保健センターでプレゼントを配布)
- 8月) 学童保育訪問
- 10月) 健康講座
ヤクルト健康教室「乳酸菌で免疫力アップ」の講演
- 12月) 給食サービス



笑顔と協力
深まる絆

◎栄養教室

井原市が実施する栄養教室の伝達講習を実施

8月)開講式、災害への備え(運動実技、調理実習)



10月)ひまわり学級共催、フレイル予防(運動実技、調理実習)

11月)研修旅行(公民館と共催)

2月)閉講式(ひまわり学級と共催)

◎ひまわり学級

6月)開講式、健康講座『こころの健康』

7月)ニュースポーツ

10月)フレイル予防講座(栄養教室と共催)

11月)研修旅行(公民館と共催)

12月)園芸講座

2月)閉講式(栄養教室と共催)



研修旅行 ドイツの森など

2023年度をもって、ひまわり学級を終了することになりました。長年にわたる学級への参加、協力ありがとうございました。



園芸講座 寄せ植えづくり

ニュースポーツ



味と健康 男性料理教室

20人、おいしい挑戦



出部地区社会福祉協議会は1月17日、男性料理教室をスマイルいずえ出部公民館で開催しました。参加者20人は、楽しく交流しながら料理のスキルを向上させました。

メニューは、にぎやか棒ずし、野菜たっぷりチャウダー、そしてにんじんオレンジゼリー。五弓紀子さん（井原市健康医療課 栄養士）が、丁寧かつわかりやすく指導しました。

参加者たちは料理に挑戦し、笑顔とともに新しい世界を楽しみました。男性たちが協力し合いながら、おしゃべりと笑い声が絶えませんでした。五弓さんからは料理の塩分についても勉強しました。

「料理は楽しい！」という言葉とともに、出部地区社協は地域の結びつきを深め、交流の場を提供しました。次回のイベントも期待され、地域の活性化に一役買っています。



出部地区社協は11月30日、真庭市の中和（ちゅうか）社会福祉協議会「すずのこハウス」へ研修旅行に出かけました。参加者17人は中和地区社協の金山弘代会長から「サロンまほろば中和」及び「おでかけツアー」の取り組みについて説明を受けました。



中和社協のフレイル対策

おでかけツアー学ぶ 出部社協、真庭に研修旅行

中和地区は人口は565人、高齢化率47%で役員も高齢化の中、新たな取り組みとして、役員10人（民生委員2人含む）が特にフレイルや認知症対策として「おでかけツアー」を企画、運営をされていました。質疑応答では、出部社協のサロン活動状況等を紹介、相互の意見を交換しました。

昼食後、国指定重要文化財の旧遷喬尋常小学校を見学。江川三郎八の設計した建築物が井原幼稚園や興譲館と同じ設計者だと知り勉強になりました。サロン活動の今後の取り組みのヒント、井原市文化の再認識、役員同士の親睦も深まり、成果の多い研修旅行でした。（鳥越哲史郎）

「おはようございます！」弾む声

県民運動に協力参加

民児協・更生保護女性会

出部地区の民生・児童委員は11月1日朝、出部小学校校門と出部幼稚園であいさつ運動を展開しました。この取り組みは岡山県青少年健全育成強調月間と児童虐待防止月間に合わせ、「子どもまんなか社会」の実現に向けた秋の活動です。

岡山県では、子どもと大人がお互いに顔見知りとなり、温かい地域の絆で子どもたちがのびのびと成長し、安心して過ごせるようにという理念に基づき、大人たちが「目配り」「気配り」を大切にし、登下校



の時間帯に合わせて庭掃除や買い物などを通じて、子どもたちに明るいあいさつをする「おはよう、おかえり」県民運動を積極的に推進しています。

活動を通じて、地域社会全体が協力し、子どもたちが健やかに成長できる環境を整えていくことが重要です。明るい挨拶と共に築かれる地域の絆は、子どもたちにとって心地よい成長の場となり、地域全体が活気づく一因となるでしょう。



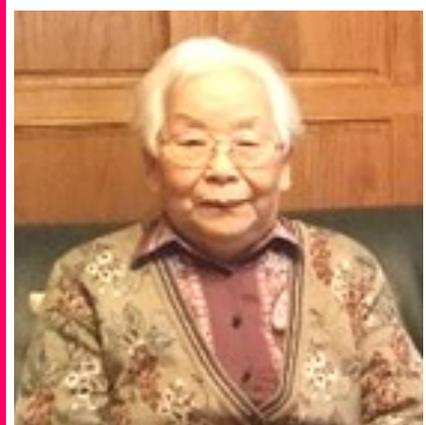
高齢者給食サービス 本年度は2回実施

出部地区社会福祉協議会は2023年度、77歳以上の高齢者を対象の給食サービスを2回実施した。

1回目は12月。愛育委員が160食のお寿司を届けた。2回目は2月。民生委員が161食のお寿司と出部小学校児童が作った版画カレンダーを配った。

おめでとう100歳

みやけ ひろこ
三宅 弘子さん



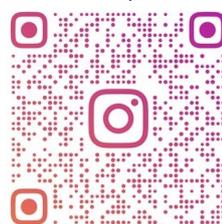
大正12年11月3日
＝七日市町

izuekm

スマイルいずえ

出部公民館のInstagram

フォローお願いします





宮島への秋の小旅行 (11月14日、36人)

はつらつシニア
出部亀老会



野球場の落ち葉清掃 (12月1日、23人)

モットー「楽しくなければ意味がない」

会員数は現在79人。今後とも、「仲間づくり」や「健康づくり」「世代を超えた輪づくり」を通し、「地域共生社会づくり」に会員それぞれ、楽しみながら元気に過ごしています。

(三輪順治)



大橋公民館でクリスマス会 (12月21日、16人)



大橋3世代交流サロン元気

笠岡・希望園を見学。中四国一の最新設備、2,500頭の牛舎 (10月18日、14人)

大橋公民館で健康体操 (2月15日、14人)



デニム館 華やか新年会

1月15日、中部仲よし会の22人が、舞鶴楼で新年の食事会を楽しく開催しました。

会場は井原特産のデニムで作られた薔薇やハートのオブジェ、藤原紀香さんが着用された振袖などが飾られ、温かい雰囲気になりました。

座ると、重箱や小皿に盛り付けられた美しいお料理が次々と運ばれ、「カワイイ。おしゃれ。家では出来ないわ」と、皆が歓声を上げながらスマホで写真を撮りました。

美味しい料理を楽しみながら、参加者たちは和やかな雰囲気でおしゃべりを交わしました。民生委員やサロンメンバーの協力のもと、助け合いの精神で団結し、楽しいひと時を共有することができました。

中部
仲よし会



川附ふれあいの会リフレッシュ

寄せ植えづくり
(12月7日、19人)



レクリエーション大会
(2月16日、15人)





華やかステージ



伝統とモダン調和



井原中学校生徒作品



佐藤桂香書道教室



書写



絵手紙



短歌



家後屋習字教室



美人画・絵画



七田市サロン



編物教室



シャドウボックス



神楽面影工会

感性が つむぐ物語

出部文化祭



子ども習字教室



書玄



水墨画・書道・墨彩画



アクセサリ



心身癒す美味しい



ちらし寿司販売



お茶席



野菜市



被災地支援カップ麺販売

出会い交流 おひさまクラブ

出部地区では公民館活動の一環として幼稚園保護者と園児を対象とした幼児学級「おひさまクラブ」という活動をしています。

活動は主に出部公民館を会場として、幼稚園の園休日や平日の午前中に園児とその保護者を対象として講師の先生をお迎えし、楽しいワークショップやイベントを年数回程度企画しています。

令和5年度 実施スケジュール

- 5月 開講式
子供カラオケ大会
- 6月 親子でリトミック
- 8月 レジン小物作り
- 10月 パン作り
- 12月 スワッグ作り
- 1月 コサージュ作り
- 2月 開講式
- 3月 いちごがり

▼カラオケ大会の様子。マイクは争奪戦でした！



▼お花系は気分が上がります♪



▲パン作りの様子。食べ物になると真剣味が増します！

▲レジンにも初挑戦！

今年度は親子参加のイベントを多く実施しました。中でも初めての企画として、開講式後に行った子どもカラオケ大会では、子ども達が競うように歌ったり踊ったりと大いに盛り上がりました。また、10月に行ったパン作りでは、ほぼ全員が参加し、生地を丸めたりどんな形にするかを考えたりと、子どもたちの集中している姿や工夫する様子に成長を感じました。

室内イベントでは、生涯学習課から 託

児ボランティアの方々に来て頂き、未就園児もおもちゃで遊んで楽しく過ごすことができました。

新年度も出部公民館を拠点とし、普段家では中々体験できないような催しを企画しています。

学年を超えた保護者同士の交流の場ともなります。年度途中からでも参加可能なので、ぜひお声掛けください！



香川へバス旅行



こいの川学級では出部小学校の1年生から6年生までの保護者と子どもたちが集まって、楽しく活動しています。

2023年度も活動テーマは「つなげよう未来・親子の笑顔」です。寄せ植え教室・ワンデイトリップ・プリザーブドフラワーのしめ縄アレンジ作りなど様々な活動を楽しみながら学年の枠を超えて、親睦を深めています。親子の思い出作りや、子育て中のリフレッシュなど参加者の思いはそれぞれです。

今年度は4月に開講式と寄せ植えをしました。6月には、4年ぶりのバス旅行で香川に行ってきました。12月にはプリザーブドフラワーを使ったクリスマスツリー&しめ縄アレンジメントを楽しみました。3月には閉講式といちご狩

スマイル全開の川学級



クリスマスツリー&しめ縄アレンジ作り



りを実施し、スマイルあふれる充実した活動になりました。

何より、今年度はお父さんお母さんだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃんの参加もあって、家族みんなで支え合い、みんなで子育てに関わる活動ができたことが大きな成果だったと感じています。

新年度も4月に募集の案内を小学校を通して配布いたします。都合のよい時の参加だけで大丈夫ですので、気軽にお申込みいただけたらと思います。みなさんの参加をお待ちしています。



寄せ植え教室

自治会だより

黄色いハンカチ掲示率65%

中部自治連が避難訓練

中部自治連合会は1月14日、とんど祭りに合わせて、「我が家は大丈夫」を知らせる安心の黄色いハンカチ掲示と、避難場所への移動経路で危険個所を再確認する防災避難訓練を行いました。地区代表者たちは出部小学校運動場への経路を確認しました。

訓練には全47地区が参加しました。黄色いハンカチは65%の世帯が掲示し、門柱や玄関、レターボックスに広げて、「生存」を知らせました。地域住民の協力により、困難な状況でもお互いに支え合う絆が深まりました。

訓練を通じて、家屋の安全性や鉄道高架橋に関する新たな知識も得られ、地域全体での防災意識が向上。中部自治連合会の取り組みにより、住民はより安心して災害に備えられました。

四季が丘クリーンキャンペーン

(11月5日)



法面すつきり

中部少年団は11月11日、一日旅行で福山市のみろくの里を訪れました。

子ども29人と大人27人の計56人が参加。みろくの里では、自然に囲まれた素晴らしい場所で、子どもたちは楽しさと学びの両方を経験しました。

旅行は団結を深め、地域コミュニティの一環としての絆を築く良い機会となりました。これからも、地域の交流や子どもたちの成長を促進するための多様な活動が期待されます。

1月14日 中部

祈りのとんど、高く遠く



1月8日 七日市



子どもの成長促進

中部少年団一日旅行

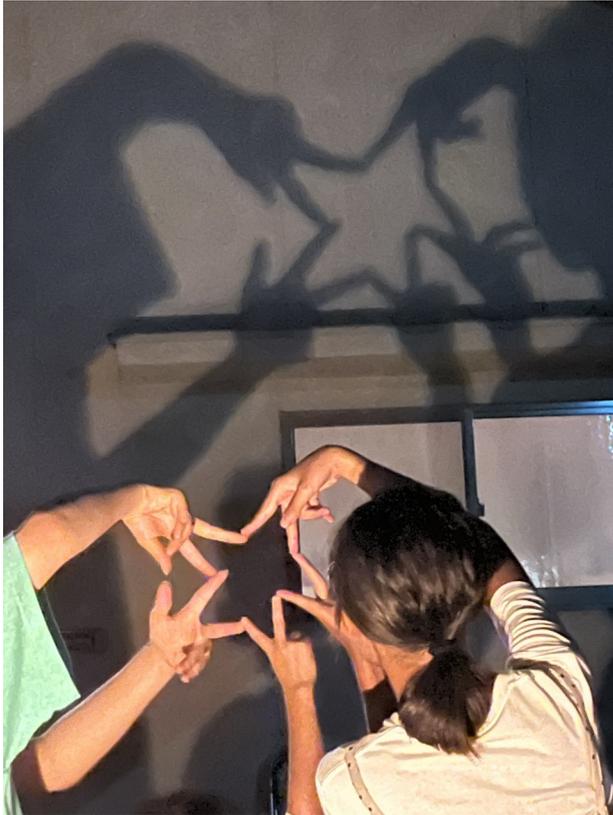


ふるさと出部発見フォトコンテスト2023

ふるさと出部発見フォトコンテスト2023（スマイルいずえ出部公民館、出部地区社会福祉協議会主催）には、地区内外から43点の応募があった。有識者らの審査により、入賞作品が決まった。

最優秀賞

幼なじみ夏休み（山足 朱実さん）



優秀賞

夏の思い出（山下 優衣奈さん）



ヤッホー（角本 有紀慧さん）



入選

紅葉狩り
（四季が丘児童クラブ）



特別賞

5時6分朝日
（藤本 節子さん）



上手に焼けたかな
（佐藤 友佳里さん）

日芳橋よ永遠なれ
（藤井 秀典さん）



未来へ向かえ
（谷中 亮太さん）





「出部を守るう」決意の出初式

団員53人キリリ

井原市消防団出部分団の出初式が1月21日、出部小学校体育館で行われました。

多くの来賓が見守る中、団員53人が整列。原田聡分団長が「いつか起きるかもしれない災害をイメージしながら活動に取り組み、大好きな出部を守りましょう」と決意を述べ、身の引きしまる式典となりました。



その後、市民会館で行われた井原市消防団の出初式に出席。式典後には日芳橋河原で無火災祈念放水訓練をしました。日々の訓練の成果を見ていただくとともに、今年一年の無火災を祈念し小田川に向けて放水を行いました。

安心安全な出部へ向けて防火啓蒙活動、放水訓練に取り組んでまいります。これからも、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

出部分団の役員

副分団長	田口 和敬	本部長	久安 誠
副分団長	佐藤 善	本部長	藤森 紀充
分団長	原田 聡	専任本部長	井上 拓哉
		本部長	鳥越 勇志

スマイルいずえ出部公民館は1月21日、新春囲碁大会を多目的ホールで開きました。約30人が参加。段位に基づき2クラスに分かれ、参加者たちは盤上で熱戦を繰り広げました。このイベントは囲碁の楽しさを広め、地域の人々が一堂に集まりました。

2月4日には、新春将棋大会を多目



白熱 盤上の思索

新春囲碁・将棋大会

的ホールで開催しました。参加者40人はA級とB級、C級に分かれ、上級者たちの白熱したA級戦と中級者たちの激戦B級が繰り広げられました。特に子どもたちによるC級の将棋バトルは、元気と笑顔で溢れ、観客を魅了しました。

地域の人々は新春のひとときを楽しんで、将棋と囲碁の魅力に触れました。これらのイベントは地域コミュニティの活性化に一役買い、参加者たちは新たな友情を育んでいます。

成績は次の通り。

(敬称略)

《囲碁》

A級①森下 道雄②安部 弘和③神保 圭之
B級①河合 和昭②本村 勝治③藤井 章

《将棋》

A級①奥家 尚②藤田 尚文③寺岡 泰伸
B級①松井 一師②中村 祥司③川合 宏治
C級①川越 名棋②渡辺 純誠③佐々木光太郎

文字の魔法 書写の魅力

無料体験 11人筆運ぶ



色とりどりの筆ペンで、季節の言葉を楽しむ書写の体験会が11月9日、スマイルいずえ出部公民館2階和室で開かれました。

11人が冬の季語の「冬茜」、かじかむ手を暖かく包み込む「手袋」など、12月に向けたテーマでお好みの色を選びながら楽しいひと時を過ごしました。

美しい大和言葉や、季語、七十二候、二十四節気などを用いた、日本らしい文化を味わえるコースでした。今後も、出部地区の皆様と一緒に書を楽しんでいきたいと思えます。書写の問い合わせは電話090-5696-9229(公文井原駅南教室 藤本)。

飛び出せ いずえっ子



佐藤 さとう
律ちゃん りつ

男の子 (2023年9月14日)
= 下出部町



柚木 ゆのき
葵ちゃん あおい

男の子 (2023年9月29日)
= 笹賀町



藤井 ふじい
志音ちゃん しおん

男の子 (2021年4月27日)
= 下出部町



石井 いしい
康祐ちゃん こうすけ
男の子

石井 いしい
杏祐ちゃん きょうすけ
男の子

(2018年8月8日) (2022年9月28日)
= 上出部町

「ふるさと出部」では元気なお子さん(小学生まで)を紹介します。掲載するのは①名前(ふりがな付き)②生年月日③性別④町名⑤顔写真。保護者の連絡先を添えてスマイルいずえ出部公民館(〒715-0021、井原市上出部町1219-2)まで郵送するか持参してください。メール(izue-km@ibara.ne.jp)でも受け付けます。

編集後記

コロナが収束に向かい日常が戻っている。ただ感染の恐れがゼロになったとは言えない。コロナの変異は続き、加えてインフルエンザも猛威を振るう。出部文化祭は子どもたちの安全を最優先に考え、会場を小学校からスマイルいずえに変更した。ポスト・コロナは新たな形でのイベント検討を迫られる。感染リスクを最小限に抑え、コンパクト化した中で最大限のにぎわいを追求したい。ただ旧態依然とした「動員」も復活し、人集めに奔走する催しやイベントも散見される。次世代のため未曾有の感染症からもっと学びたいものだ。(S・F)